# 事務所だより



〒861−8029

熊本市東区西原 2 丁目6番21号 杉山友香社会保険労務士事務所

TEL:096-201-8021 FAX:096-201-8022

https://sugiyama-office.p-kit.com/

### 令和7年9月号

## マイナ保険証をお持ちでない方は資格確認書を送付!

~令和7年7月下旬より順次、被保険者のご自宅にご郵送されます!~

文責:杉山 友香



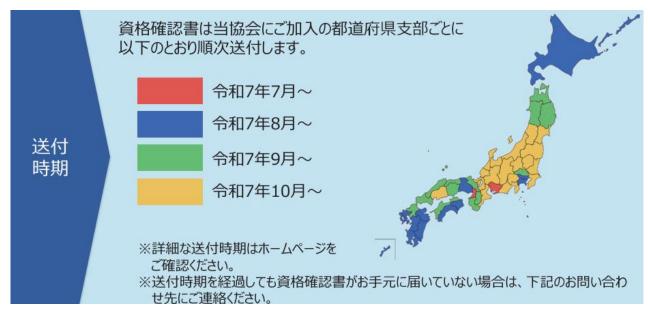
令和7年 12 月 2 日以降、現在医療機関等の窓口に提示して保険診療を受けている健康保険証は、使用できなくなります。今後は<u>健康保険証として利用登</u>録したマイナンバーカード(マイナ保険証)を利用して医療機関等を受診すること

になりますが、マイナ保険証を持っていない人が医療機関等を受診する際には資格確認書が必要です。

この資格確認書は、令和6年 12 月 2 日に新たに資格取得した人で、マイナンバーカードの発行を受けていない人等に発行されていたものであり、令和6年 12 月 1 日以前に健康保険証が発行されていた人には、令和7年12月 1 日までに発行され



ることになっていました。今回、保険者が協会けんぽである事業所については、令和7年 7 月下旬より順次、対象者の資格確認書が発行され、従業員(被保険者)の自宅へ送付されることになりました。なお、送付対象者の一覧は「対象者一覧表」として会社に事前に送付されます。



送付時期(予定)は都道府県支部ごとに異なっていますが、特定記録郵便で送付されます。対象となる 従業員には、事前に資格確認書が届く旨を周知しておくとよいでしょう。なお、従業員の住所に送付され た後、宛所不明等の理由により不着となった場合は、会社へ再度送付されることとなってます。

※出所:全国健康保険協会ホームページより

### 令和7年度地域別最低賃金額改定の目安について

#### ~ 目安はAランク 63 円、Bランク 63 円、Cランク 64 円~

文責: 杉山 友香

賃上げ基調が一層強まる中、毎年の最低賃金の引上げは社会的に大きな注目を 浴びています。8月4日に開催された第71回中央最低賃金審議会で、今年度の地域別 最低賃金額改定の目安について答申が下記の通り取りまとめられました。



【答申のポイント】(ランクごとの目安)

ランク	都道府県	金額
Α	埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪	63円
В	北海道、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、三重、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、福岡	63円
С	青森、岩手、秋田、山形、鳥取、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	64 円

仮に目安どおりに各都道府県で引上げが行われた場合の全国加重平均は 1,118 円となります。この場合、全国加重平均の上昇額は 63 円(昨年度は 51 円)となり、昭和 53 年度に目安制度が始まって以降で最高額となります。また、引上げ率に換算すると 6.0%(昨年度は 5.1%)となります。

### お遍路にて・・・(再開7)



文責:伊東 毅

急遽宿泊したホテルは、泊まったことがない広い部屋に、遍路ネーム「同級生」(女性)を含めて一緒に雑魚寝となりました。翌朝、朝食時に、騒がしくなかったか?と同級生に尋ねたところ、黙って箸を置いて、怒りを抑える様にお茶を啜っていました。私も黙ってご飯をかき込むしかありません。

3日目は、四国霊場で3番目に高い60番札所横峰寺を打ちます。歩きでこの寺に参るには1日かかりです。 1回目にお参りした時、20年以上も前ですが、山裾の民宿に泊まりました。宿泊者は私一人だけの為に、初老の男性が給仕に控えておられます。ぽつり、ぽつりとお遍路のお話をして下さりました。どうしてお遍路しているかとか、詮索めいたことは一言もありません。それをも包み込むような慈悲が微笑みのなかに感じられます。そんな遍路宿も、歩き遍路の減少と採算面で後継する方がおらず、やめられた宿が増えました。

我々を乗せたレンタカーは、順調に、不機嫌なままの同級生を乗せて走ります。やがて、「遍路ころがし」という言われるように、きつい坂道に差し掛かりました。『この先雪のため通行禁止』という看板は逆効果。 反骨精神丸出しの団塊世代の遍路ネーム「師匠」と、祝った年から 15 年も経っている「還暦」は、行け行け ドンドンと口三味線をかき鳴らします。これまた、私は無責任にもそれに応じて囃します。それ以上に、破滅的な「赤シャツ」は無表情に片方の口尻を微かに上げて、前のめりにハンドルを握りしめています。

ところが、程なく走ったところで、タイヤがスリップし始めました。「スノータイヤだけど」。「四駆でしょ

うね!」。「・・・」。「冬道は四駆にスノータイヤは常識、だよね!」。 会話のようにタイヤも空回りして動きません。それどころか、下がりだしています。同級生が甲高い声で「無理よ!」と不機嫌に言い放ちました。これ幸いに、逃げ足の速い還暦が、車を出て誘導し広い所に車を停めさせました。ここに残り車を見ているという赤シャツを残して、4人は無事に横峰寺を打ち終えて戻りましたが、まだ雪が溶けていないので動かせないということで、1時間近く不機嫌な時間を過ごすことになりました。この程度の積雪ですよ、雪国の方が見れば笑いますよわ

